

池田町立 高瀬中学校

わたしたちの学校では、こんな活動をしています。



上田市立 真田中学校

池田町活性化プロジェクト

14のプロジェクトで池田町を私たちが元気にする!!

地域の一員として活躍する真田中生

「楽しい」から続く地域との関わり



協力して
くださいませんか?

どうしたら
町が元気に
なるかな?



つながるマルシェに参加



間伐材でスウェーデンソーづくり

いろいろな商品
を販売し、活動
を宣伝すること
ができました。



地域の方々にプレゼンテーション

- 14のプロジェクト(一部)
- トートバッグづくり ● 小説づくり
 - ハーブを使ったせっけんづくり
 - 草木染めのハンカチ・巾着づくり
 - パン開発 ● いけだまち検定
 - 空き家で美術イベントの開催
 - 商店街にシャッターアート など



「私たちの集大成 池田町の未来へつなぐ発表会」

3学年の12月、
地域の方々に
感謝を伝えました

各校のボランティア・地域活動の紹介

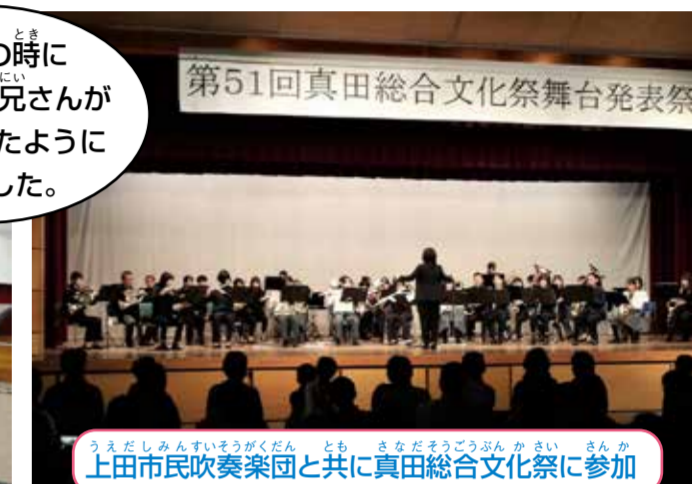


地域の清掃ハイキング(春・秋)



夏休み自由学習ボランティア

小学生の時に
中学生のお兄さんが
教えてくれたように
接しました。



第51回真田総合文化祭舞台発表祭

上田市民吹奏楽団と共に真田総合文化祭に参加



真田まつりへの参加

家族の方からも
「ありがとう」と
言ってもらえて、
うれしかったです。



保育園児と遊ぶ

ふれあい広場 in さなだ



たくさんの方と
お話しができて
楽しかったです。

1年生の時に、地域の方のお話を受け、池田町の人口が減っていくことを知った私たちは、総合的な学習の時間で「池田町をどうしたら元気にできるのか?」というテーマで3年にわたり、町の魅力づくりのプロジェクトに取り組みました。

最初はどんなプロジェクトにすればいいのかが、なかなかアイデアが浮かびませんでした。地域の方からアドバイスをいただき、みんなで話し合いながらやりたいことを明確にして、14のグループをつくりました。

2年生の時には、交流センターでプロジェクトを発表し、協力者を募ったところ、地域の事業者や団体など多くの方々が賛同してくださり、一緒にプロジェクトを進めました。

3年生ではプロジェクトを「形にする」という目標を立て、準備を進めました。そして10月には「つながるマルシェ」に参加。活動の宣伝や商品販売、イベントを開催して、池田町の魅力を多くの人々にアピールしました。

見通しがもてず不安なところからのスタートでしたが、目標のためにチームのみんなで考え、協力し合うことで、プロジェクトを一から立ち上げ、形にすることができました。また、利益もたくさん出すことができ、今後、池田町の活性化のためにどのように使うかを考えていきます。

私たちの活動でみんなが笑顔になって、池田町に元気が出てくることを願っています。

高瀬中学校の紹介
西側に高瀬川が流れ、雄大な北アルプスの山々を一望することができる全校195名の中学校です。Canvaというアプリを授業で使い、生徒たちは動画編集もお手のもの。「子どもをまんなか」にした授業づくり・学校づくりを進めています。

ここに注目! 取り組みのポイント
中学生も地域の一員です。自分の町について考え、話し合い、実際に動いてみるとたくさんの学びがあります。一方、町の人たちにとっても笑顔や元気を引き出してくれる中学生の力を感じています。

真田中学校は、旧真田町の頃から地域の行事や福祉に関わる様々な催し物に地域の一員として協力をしています。これまでに地域の環境美化活動である清掃ハイキングや小学生の夏休みの宿題をサポートする学習ボランティア、地元の夏祭りに参加してきました。また、「ふれあい広場 in さなだ」では、様々なブースのお手伝いなど、その準備、打ち合わせから協力をしています。

地域行事等への参加については、生徒会の福祉委員会が中心となって全校に呼びかけ、ボランティアの募集を行っています。長年こうした活動を継続しているため、活躍する先輩の姿を見たり聞いたりしていることから、ボランティア活動に対して積極的に参加する生徒が多くいます。

活動した生徒は皆「楽しかった」と笑顔で話し、次のイベントにも続けて参加しています。

真田地域では高齢化が進み、子どもの数は減少傾向にあります。私たち真田中生には、これからの地域の担い手として大きな期待が寄せられています。

また、真田中コミュニティスクールに登録されている地域の方々からは、放課後学習や食育に関わる総合的な学習の時間、学校の伝統であるサルビアづくり、部活動などで多くの支援をいただいています。

今後もこの真田地域で学校と地域が共に豊かな生活を送れるように、私たちは地域との関わりを深めていきたいと思っています。

18歳までの子どもがかける「子ども専用」の電話

チャイルドライン

フリーダイヤル **0120-99-7777**

困っているとき、悩んでいるとき、なんとなく「だれかに話したい」、そんなとき……気軽にかけてください。

★ちょっといいにくいことでも、名前は言わなくていいので安心して話してください。
★どんなことでも、いっしょに考えます。

チャイルドラインはみなさんの赤い羽根共同募金が設立されています。

●発行/お問い合わせ

ながのけんしゃかいふくしききょうぎかい
社会福祉法人 **長野県社会福祉協議会**

まちづくりボランティアセンター

〒380-0936 大字中御所字岡田98番地1 長野保健福祉事務所庁舎内
TEL.026-226-1882 FAX.026-227-0137
Eメール vcenter@nsyakyo.or.jp ホームページ http://www.nsyakyo.or.jp

しなのきょういくかい
公益社団法人 **信濃教育会**

〒380-0846 長野市旭町1098
TEL.026-232-6994
ホームページ http://www.shinkyō.or.jp/

やまびこだよりは、長野県社会福祉協議会のホームページからPDFファイルおよび音訳データとしてダウンロードできます。
<http://www.nsyakyo.or.jp>

あなたのまちのボランティアセンターへ行こう!

どこにあるかわからないひとは長野県社協まで!

この新聞の発行には、みなさんの赤い羽根共同募金が役立てられています。

